

ネイチャーセンター ガイド (93)

子ども達よ、たくさんの
知恵とエネルギーをありがとう！！



10月、多くの子ども達が市内外を問わず、宝の山ふれあいの里へ遠足にやって来ました。9月のセンターガイドには自然体験が心におりなす効果を掲載しました。今回は、受入れ後の子ども達から得た、たくさんの知恵とエネルギーを紹介します。

宝の山での遠足の流れは、私たちスタッフと仲良くなることから始まり、宝の山のラジオ体操、そして土や空気と触れ合うオリジナルなゲームをした後、山へ探検に出かけます。

山の探検では、服を土色にして帰ってくるのがテーマになっており、それぞれのスタッフが工夫を凝らして子ども達を山へ引き連れていきます。子ども達の反応もさまざまで、「汚れるから山へ入るのは嫌」「お母さんに怒られるから汚さない」との反応に「遠足は汚れるものだ」「汚れるー」といろんな手法を交えて、宝の山のマジックをかけていきます。山から下りてきたときには紺色、小豆色のジャージも土色に変化しています。こうしてスタッフに打ち解け、土にも山にも心を許していくのです。

ある学校で、火が起きたら大豆を炒って食べよう、という設定で「火起こし」をしました。小枝、葉、枝を山で拾い集め、一輪車やロープを用いて運びました。いよいよ火付け。マッチ班と火打石班に勝手に分かれ作業開始。マッチ

班は、マッチを付け薪の中へ放り投げては消えていました。マッチは100本しかありません。一人の子がマッチを占有し、そのため喧嘩が絶えず起きていました。トラブルも人格を形成していく上で大切なこと。見守っていました。そのうち、「葉っぱに付けてみれば」と一人が言いました。挑戦。煙が上がり、大興奮！！しかし、それでは火が付いたことにはならないとアドバイス。残り10本しかない状況で、杉っ葉に火を付けてみせました。まだ、もめています。1本しかありません。緊張感はグッと高まりました。一点にみんなの目は集中。気持ちも向いていたように思えました。火が付いたのです。

その後、葉から小枝、小枝から枝への火の移し方を教えながら大豆を炒りました。食べるために必死になる目を眺め、この子達に今必要な体験と体験手法を見い出しました。

フライパンを持つ手が熱いからと、柄に木を差して炒り始めた姿には感動させられました。ありがとう。

連絡・問合せ先 ☎(45)6222
宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

都留市長選挙
投票のお知らせ

11月13日(日)投票日

○立候補届出日(告示日)

11月6日(日)午前8時30分から

午後5時

市役所2階 第一会議室

○投票日

11月13日(日)午前7時から午後8時

○開票日

11月13日(日)午後9時から

谷村第一小学校 体育館

○投票できる方

昭和60年11月14日以前に生まれた日本国民で、今年の8月5日以前から本市の住民基本台帳に登録されている方。

○投票できない方

●公民権停止者

●今年の8月6日以降に転入の届出をされた方

●投票日(期日前投票日)までに市外へ転出された方

○期日前投票

投票日当日に、仕事やその他の理由で投票所に行つて投票できない方は、期日前投票をすることができます。

期間 11月7日(月)から12日(土)

毎日午前8時30分～午後8時

場所 市役所1階 ロビー

問合せ 都留市選挙管理委員会

☎(43)1111 内線260